

認知症共生社会を支える 地域資源について考える オンラインシンポジウム 9月28日(土) 13:00~14:30

■基調講演 13:00~13:30

若年性認知症と向き合う日々から



下坂厚氏 写真家・若年性認知症当事者

46歳で若年性アルツハイマー型認知症の診断を受ける。若いころはフリーのカメラマンなどの仕事を経て、大手鮮魚店で二十数年勤務。2019年に仲間と鮮魚店の会社を立ち上げた矢先に病気が発覚。仲間に迷惑をかけたくない思いから会社を退職、絶望のさなか、認知症初期集中支援チームを通じて京都市西院老人デイサービスを紹介され、ケアワーカーとして働く。今の自分だからこそできることとして、認知症の自分から見えている世界を写真に収め、SNSを通じて社会に発信している。

聞き手：稲田秀樹 神奈川オレンジネットワーク代表理事

■シンポジウム 13:30~14:30

認知症共生社会を支える地域資源について考える

2024年1月「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、私たちの身の回りはこれからどのように変わっていくのでしょうか？今回のオンラインシンポジウムでは、認知症の人と家族、地域をつないでいる実践者と一緒に認知症共生社会について考えていきます。

報告1 地域を結ぶ広報紙えがおとカフェの取り組み

本間克之氏・前田恒夫氏 横浜市港北区

報告2 さがみはら認知症サポーターネットワークの取り組み

佐藤隼氏 相模原市

報告3 レビー小体型認知症サポートネットワーク神奈川の取り組み

藤井博子氏 横浜市

報告4 認知症共生社会を目指したおれんじあさおの取り組み

大竹明氏 川崎市麻生区



参加申込みは2次元コードからどうぞ(申し込み先着順)

主催:神奈川県 問合せ:神奈川県高齢福祉課 TEL045-210-4846

協力・チラシ制作:一般社団法人神奈川オレンジネットワーク

